

化学工学会第 45 回秋季大会 シンポジウム S-4

「次代を担う各種電池等のエネルギーデバイスの展開 ―材料・プロセス・システム―」 報告書

本シンポジウムはエネルギー部会、材料・界面部会、反応工学部会の三部会共催で、秋季大会初日から三日目にかけて開催され、以下の 3 件の招待講演を含めてシンポジウム全体の講演数は 37 件であった。

- ・高森 信之 様 (シャープ)「太陽電池を中心としたエネルギーに関する開発の現状と展望」
- ・辰巳砂 昌弘 先生 (大阪府立大学)「全固体電池の開発と展望」
- ・内田 裕之 先生 (山梨大学)「高温水蒸気電解(SOEC)/固体酸化物形燃料電池(SOFC)可逆作動セルの開発と今後の展望」

一般講演では、燃料電池、二次電池、太陽電池などの次世代エネルギーデバイスを対象に、材料開発、解析技術、プロセス・システムなどについて、多数の報告がなされた。

また、学生による口頭発表を対象に、発表・研究内容・質疑応答に関して審査を行い、審査対象 28 件の中から以下の 3 件の学生賞(順不同)を選定した。

- ・井田 文佳 (群馬大学)「CNF 触媒を用いた高活性触媒層の形成に関する研究」
- ・山田 開理 (東京工業大学)「太陽電池への応用に向けたポーラス Si/金属ナノ粒子複合材料のマイクロ/ナノ構造制御」
- ・庄野 洋平 (東京大学)「タングステン酸ランタンにおけるプロトン伝導率に与える影響因子の評価」

オーガナイザー(材料・界面部会担当)
東京工業大学 田巻孝敬